

季刊

弥生の出雲王に出会える



# 出雲弥生の森博物館だより

## IZUMO YAYOINOMORI MUSEUM



よすみちゃん

### 第21号

(2016年4月)



- 無料** 西谷の丘をドローンが飛ぶ！ 13時30分～
- 無料** よすみちゃんクイズ 10時～
- 無料** 喫茶コーナー 10時～
- 有料** 手作り手芸品の販売 10時～
- 無料** 神話舞隊カミアリージャーショー 10時～

#### 4月29日(金・祝)

#### ★館長のおはなし

10時～

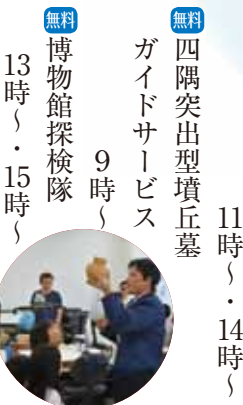


#### ★オープニング演奏会

9時30分～

4月29日は当館の開館記念日です。今年も開館記念日を中心に「出雲弥生の森まつり」を「弥生の森おまつり」をはじめ地元のみならずと協力して開催します。

#### 出雲弥生の森まつり2016



- 無料** 四隅突出型墳丘墓ガイドサービス 9時～
- 無料** 博物館探検隊 13時～・15時～
- 有料** 特別展「出雲王登場」ギャラリートーク 11時～・14時～

#### 4月30日(土)

#### 勾玉づくり体験

10時～



#### 4月29日(金・祝)・30日(土)

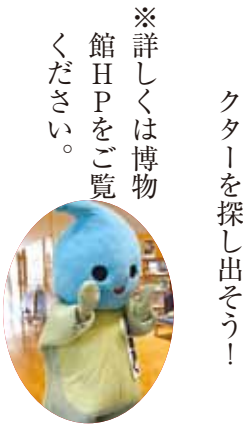
#### ★屋台村

10時～



#### 4月29日(金・祝)・30日(土)

出雲王のお墓「よすみ」を空から探検しよう！ 14時～  
協力：出雲コアカレッジ ※雨天中止



- 無料** 弥生人のフェイスペイント 出雲弥生の森博物館
- 無料** オリジナルマグネット 八雲立つ風土記の丘
- 有料** れきはく古代おもしろ体験 古代出雲歴史博物館
- 有料** オリジナルプラ板づくり 荒神谷博物館
- 無料** 弥生人のフェイスペイント 出雲弥生の森博物館
- 無料** キャラ探しスーパードクターを探し出そう！

#### 5月1日(日)

**無料** 弥生の森 特製大鍋コーナー 12時～ 限定100食

#### 古代体験フェスティバル

13時～16時

**無料** 弥生の土器で、古代米を炊いて食べよう！



※詳しくは博物館HPをご覧ください。

★特集 研究ノート⑮ 特別展  
再現「祭りのあと」

2016年特別展「出雲王登場—とことん解剖 西谷3号墓—」では、展示室中央に出雲王の葬儀終了後の「祭りのあと」を再現しています。

弥生時代後期(2世紀後半)、初代の出雲王は西谷3号墓に埋葬され、埋葬後、墓上には掘立柱の構築物が建てられました。四方に並ぶ柱は残っていませんでしたが、径50cm前後あったと推測されます。4本の柱は、2.8m×2.1m、4対3の比率の長方形に配置されていました。このような施設は、弥生時代後期の山陰では他に例がなく特異な事例です。

この構築物を中心に約1000人が参列した盛大な飲食儀礼が行われたと考えられます。葬儀が終わると、葬儀に使った土器は掘立柱の構築物の中に片付けられました。その状況が発掘されたのです。意図的に壊されたものはありませんでした。その配置は、出雲王の霊が宿る石主の周辺に地元出雲の土器(山陰系)が、それらの南北に丹越系土器、さらにその外側に吉

備の特殊土器が置かれる、というもので、産地ごとにまとめて置かれていたのです。

「祭りのあと」の再現では、まず、実大の墓穴と4本の柱を立てました。柱はそれぞれの太さを再現しています。中央に真っ赤な石主と玉砂利を置き、その周りに土器を配置しました。これらの土器は、2015年12月12日、体験教室「西谷3号墓の弥生土器を作ろう」で、教室参加者と当館職員と一緒に粘土をこねて作ったものです。総数221個体。朱色が地元出雲と丹越系土器、濃い赤色が吉備の特殊土器です。狭い空間に土器を丁寧に並べていたことが実感できます。5月9日(月)まで。見逃すと「あとの祭り」ですよ!

(坂本豊治)



再現「祭りのあと」

★ギャラリー展より  
「西谷古墓」

今回のギャラリー展では、西谷墳墓群で最後につくられた西谷古墓を紹介しています。

西谷古墓は、昭和37年(1962)に、西谷丘陵での陶土の採掘中に見つかりました。高さ31cmの須恵器の甕の中に火葬された人骨が入っていました。このような火葬骨を埋納した墓を火葬墓と呼び、西谷古墓は須恵器の形から奈良時代後期のものと考えられます。

しかしながら、発見が古いことから正確な位置は分からず、火葬骨はわずかに残っていますが、それを納めた甕なども行方不明になっています。

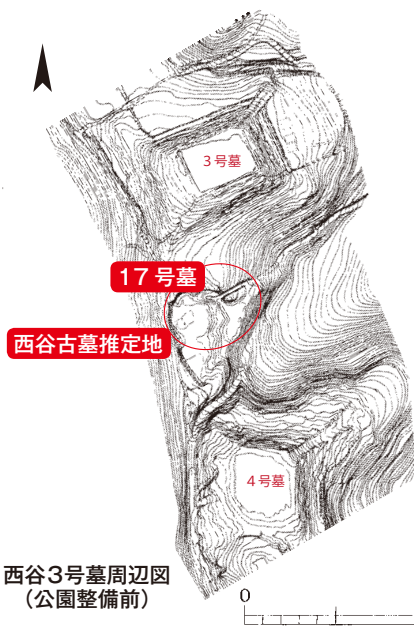
今回の展示に際して、あらためて西谷古墓の位置を検討し、古墓発見時に陶土採掘が行われていたのは西谷3号墓南側の17号墓付近であることが分かりました。したがって、古墓はその付近に

あったと推定されます。

古代の火葬墓は南向きの丘陵斜面で見つけることが多く、風水思想に基づいて土地が選ばれました。北に山を背負い、東西は尾根で隔てられ、南は開けて平地や川を望む地形が理想とされました。

これに対し西谷古墓の推定地は、東西南方向の斜面ではありませんが、南北に3号墓と4号墓が造られた尾根を配し、東に斐伊川を望むことができます。西谷古墓も風水思想を意識して造られたと考えられます。

古代に火葬されたのは、地域の有力者など限られた人びとでした。西谷古墓に納められたのは、どのような人だったのでしょうか。(高橋 周)



西谷3号墓周辺図  
(公園整備前)

★発掘調査の現場から⑫  
 「上塩冶横穴墓群発掘調査の現地説明会を開催しました！」

3月6日に上塩冶横穴墓群発掘調査の現地説明会を開催し、天候の悪い中、約120名の皆さんにご参加いただきました。

上塩冶横穴墓群とは、出雲市上塩冶町に所在する県内最大規模の横穴墓群で、今から約1400年前(古墳時代終わり頃)に造られたものです。出雲市では、平成24年度(2012)から県道出雲三刀屋線道路改良工事に伴いこの遺跡の発掘調査を実施してきました。これまでの調査で、合計45基の横穴墓を発見しています。

今回の現地説明会では、平成27年度(2015)に調査した横穴墓9基を一般公開し、遺物・写真の



蓋石のない石棺を持つ横穴墓

展示も行いました。石棺を持つ横穴墓や、多くの出土品(大刀・矢じり・耳環(耳飾り)・土器他)に、皆さん興味津々のようでした。

調査終了後には出雲弥生の森博物館でも改めて速報展示を企画しますので、今回見逃した皆さんもぜひお出かけください。

(須賀照隆)



現地説明会のようす

★発掘調査速報展  
 「祇園原Ⅲ遺跡の発掘調査」

開催中(4月25日(月))

市文化財課では、昨年度、県道斐川上島線の道路改良工事に伴い、斐川町直江(三絡地内)に所在する祇園原Ⅲ遺跡の調査を行いました。調査は、昨年の7月から今年1月まで約7か月間行い、奈良・平安時代を中心とする6000片の遺物や炭焼き跡が確認できました。

速報展では、調査で出土した遺物や現地を確認した遺構の写真など調査成果をご覧いただきたいと思えます。

(石原 聡)



調査を行った祇園原Ⅲ遺跡(西から)

★博物館アテナントコーナー  
 「春のおすそわけ」

こんにちは！  
 博物館のアテナントです。

暖かくなり、博物館のある西谷の丘にも春がやってきました。弥生の森の春の「コマ」と言えば、日本の在来種でもある「シロバナタンポポ」の存在です。普段よく見られるのは、黄色い外来種の「セイヨウタンポポ」で、在来種でもある「シロバナタンポポ」が見られる所は少なくなりました。

昨年の春、シロバナタンポポの苗を公園に、地元ボランティア出雲弥生の森公園フレンドクラブの皆様と一緒に植えました。その後、弥生の森まつり2015で来館者の皆様にも協力していただき一緒に植えました。そして今年の春、大きくなり綺麗な花を咲かせてくれるようになりました。

シロバナタンポポの見頃は春と秋で、博物館前駐車場の花壇で見ることが出来ます。

博物館常設展示の「西谷3号墓1/10模型」の中にも咲いています。お越しの際は、二つの場所に咲くシロバナタンポポをゆっくりご覧になってください。

★ミュージアムショップ情報  
「博物館オリジナル  
ポストカード」に新作追加!

従来の6種類に「上塩冶築山古墳(かみえんやつきやまこふん)」が加わり、計6種類になりました。お得なセット販売もあります。



「上塩冶築山古墳」

- ・1枚 103円(税込)
- ・4枚セット 308円(税込)

▼「よすみ型ストラップ」  
「よすみ型イヤリング」

四隅突出型墳丘墓の形をリアルに再現したアクセサリーです。全て手作りで、さまざまなカラーバリエーションがあります!



- ・ストラップ 350円(税込)
- ・イヤリング 540円(税込)

★講座のご案内  
▼出雲弥生の森博物館  
職員リレー講座

出雲の文化財や歴史、最新の発掘成果について、文化財課の職員がわかりやすく語ります。

5月28日(土)

出雲市内の横穴墓群 その1

「県内最大規模を誇る  
上塩冶横穴墓群」

【講師】須賀 照隆

6月11日(土)

出雲市内の横穴墓群 その2

「杉沢横穴墓群が語る  
東西出雲の交流」

【講師】幡中 光輔

7月2日(土)

「杉沢遺跡発見の  
古代山陰道と郡家」

【講師】宍道 年弘  
江角 健

右の講座はいずれも

- ・時間 14時～16時
- ・受講料 300円
- ・定員 80名

講座の受講には事前申込みが必要です。電話・FAX・博物館HP等でお申し込みください。

★館長コラム⑰



出雲弥生の森博物館のマスコットキャラクターは、ご存じ「よすみちゃん」です。二〇一一年にインターネットミュージアムが実施した「ミュージアムキャラクター・アワード」で、二位以下に大差をつけて見事優勝した人気者です。当館受付の後ろに、そのときの表彰盾が飾ってあります。

当館でよく見かけるもう一つのキャラクター。それは何を隠そう、恥ずかしながら私の似顔絵です。私が言うのも何ですが、特にお子さんに人気があって、来館する子供たちは絵と私を見比べて「そっくりだ」と口を揃えます。

しかしこの絵は、実は当館とは直接関係のないところで作られたものです。

博物館がオープンする前の年、日本考古学協会という学会が「西谷墳墓群をささえた人々」という公開講座を出雲市で開きました。この講座は毎回、ポスターやチラ

シに記念講演をする講師の似顔絵を載せることになっており、そのため上図のようなイラストが作られました。これが大変好評だったので、当館がオープンしたとき、流用して活用させていただくことにしたのです。

この絵を描いたのは考古学の専門家でもある方ですが、写真を送れと言われただけで、お会いしたことはありません。写真だけを頼りに「そっくり」と言われるような絵を描くなんて、すごい才能ですね。私はこれで福笑いを作った孫と遊びました。

(渡邊貞幸)

(発行)出雲弥生の森博物館 2016年4月

〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760  
(TEL)0853-25-1841 (FAX)0853-21-6617  
(e-mail)yayoi@city.izumo.shimane.jp  
<http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>

- 入館料 / 無料
- 開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
- 休館日 / 火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始